

令和4年度 第4回滋賀県公立大学法人評価委員会開催結果（概要）

日 時 令和4年8月4日（木）
13時58分～14時50分
場 所 大津合同庁舎 7-A会議室
(オンライン開催)

【出席委員】 浅田委員長、秋葉委員、中田委員、山本委員

【事務局】 小林私学・県立大学振興課長、他関係職員

【県立大学】 廣川理事長（学長）、宮川副理事長、山根理事、高橋理事、安原理事
八里事務局次長、他関係職員

開会

○委員会の進め方について

・委員会の進め方について、事務局から説明

【議題】

1 令和3事業年度における業務の実績に関する評価について

・評価案の修正について、事務局から説明

（委員長） 前回の皆さんからの意見を受け修正された内容であるが、気付かれた点や追加の発言はあるか。

（意見なし）

（委員長） 特に発言等がなければ案のとおりとしてよろしいか。

（異議なし）

(委員長) それではこの形で確定していきたいと思うが、本評価については、滋賀県公立大学法人評価の基本方針に基づき、評価結果案を法人に示し、法人から意見の申し立ての機会を設けることとしているので今後その手続きを行いたいと思う。ついでに、その意見等への対応を含め、字句修正等軽微な変更などについては委員長一任でお願いしたいがよろしいか。

(異議なし)

2 第3期中期目標期間終了時に見込まれる業務の実績に関する評価について

・ 論点整理資料の修正について、事務局から説明

(委員長) 評価が「Ⅳ」となっている4項目について、前回の議論を受け、見込み評価であるということがわかるような記述を加えている。気づかれた点等はあるか。

(意見なし)

(委員長) 評価「Ⅳ」の項目については、論点整理資料のとおりとしてよろしいか。

(異議なし)

(委員長) 前回、大学の自己評価と事務局の評価が異なるとしていた箇所についてはいかがか。

(異議なし)

(委員長) 続いて法人の自己評価で「Ⅱ」と評価している項目について、事務局から説明があったように、見込み評価は次期中期目標・中期計画に向けた評価であり、そういった観点も含めた評価と思うが、御意見等伺いたい。

(委員) 前回、大学の自己評価と事務局の評価が異なるとしていた箇所について、異論はないが、計画番号43番の評価委員会として法人の自己評価と異なる評価をつけたことについて、評価委員の議論の過程等については、評価結果のどこかに記述が必要ではないかと思っている。

(委員) 同じように考えており、評価委員会が評価を変更している箇所については、「議論があったはずだし、根拠があるはずだ。」と見られるので、評価委員会として判断理由の記載は必要と考えている。基本的には説明責任があると思うので記載できないか。

(事務局) 内容については委員長と調整させていくということによろしいか。

(委員) 問題ない。

(委員) 変更のポイントがわかるような説明が入ればよいと思う。

(委員) 計画番号46の整備計画について、「県にも必要な助言や支援を行っていただきたい」という一文入れたので、次期中期期間に向け今後も後押しになればと思う。

(異議なし)

・評価案について、事務局から説明

(委員長) 何か気付かれた点や追加の発言はあるか。

(委員) 第3期中期目標期間の中で、大きなことといえばやはりコロナが重なってしまったということかと思っている。コロナ禍にも関わらず必要な施策は工夫されながら、通算の法人運営をされてきたということに頭が下がる思いがあるので、全体評価のところで触れていただくと、そういう思いが

伝わると思う。特に滋賀県立大学の場合、生活に困窮される学生への食料支援の取組はあまり他の大学で多く聞かない取組だと思っている。学生に寄り添った施策をされているということは非常に感銘を受けているため、何か伝わるような形で記載できればと考えている。

(事務局) 令和3事業年度評価等で、関連する記載をしているので、引用して記載する方向で検討したいと考えている。

(委員) 計画番号23番の地域社会との連携について、例えば地域の事業者とコミュニケーションを重ねてきているという説明もいただいているので、県立大として、地域の事業者との連携を図っており、努力しているというようなことを、記載できないか。

中間評価は結局、次の目標に繋がるという位置づけであると理解しているので、その際地域産業等との連携は、何らかの形で出てくると想像しており、ここまでの計画期間の中で、地域の事業者さんと実施された内容については、評価できることとして記載したいと考えている。

(委員長) 地域の産業との繋がりが見える形での修正を考えたいと思う。その他、御意見等はあるか。

(異議なし)

(委員長) 特に追加の御意見がないようであれば、先ほどの御意見を踏まえ少し修正を加えたいと思う。本委員会の評価として、これも先ほどと同じように、評価結果を法人に示して意見の申し立ての機会を設けることとなっているので、今後その手続きを進めたい。については、先ほどの修正部分も含め、変更については委員長一任ということでお願いしたいがどうか。

(異議なし)

(委員長) 今回4年終了時ということで、次期中期目標に向けた準備が一番大事なタイミングになる。見通すことが非常に難しい6年間を含めた目標・計画になっているので、今後、県立大学はどのような形で発信していただくかというのは、ぜひ県と一体となって、設定いただきたいと思う。評価委員会は横からそれをサポートするような役割だと思うので、そういう形で見守っていきたいと思っている。

○閉会